活用事例４　「活かすＤＢ（農林業センサス）」を活用した地図情報（別指標の同一マップ化）
１農業経営体当たりの経営耕地面積（2015年）と５年間の増減　＜京都府＞

１．活用のイメージ

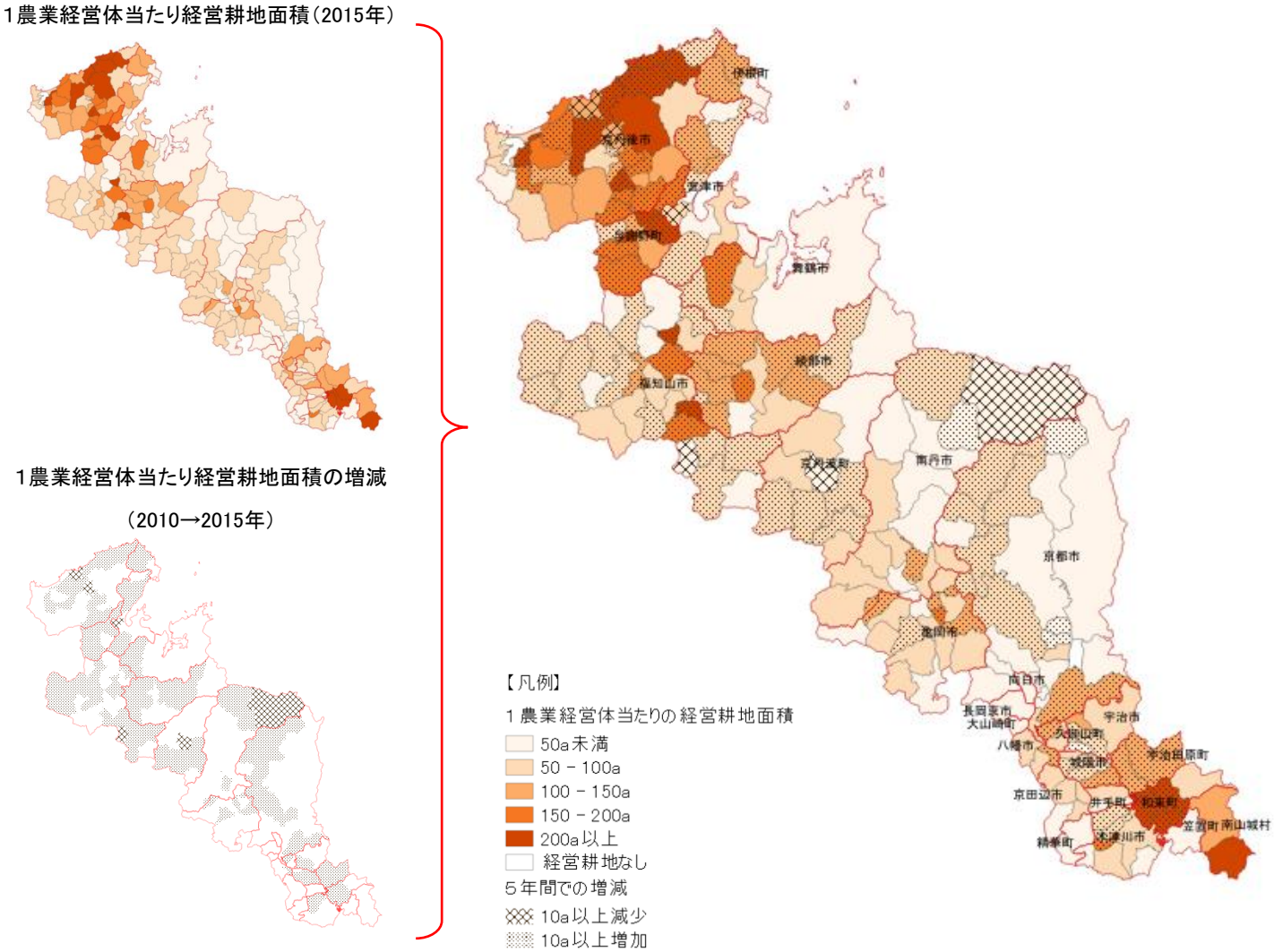
１農業経営体当たりの経営耕地面積（2015年）とその５年間（2010年→2015年）での増減をそれぞれマップ化し重ね合わせることにより、地域での経営耕地の規模と拡大の状況を視覚化。

２．活用するデータ

(1) 出 典 資 料 （ 年 次 ） ：農林業センサス（2010年、2015年）
(2) 表 （統 計 表 ） の 名 称 ：農業経営体_経営耕地の状況
(3) 地図情報に用いた指標 ： １農業経営体当たりの経営耕地面積
（経営耕地総面積 ÷ 経営耕地のある農業経営体数）

３．地図情報

１農業経営体当たりの経営耕地面積（2015年）と５年間の増減　＜京都府＞

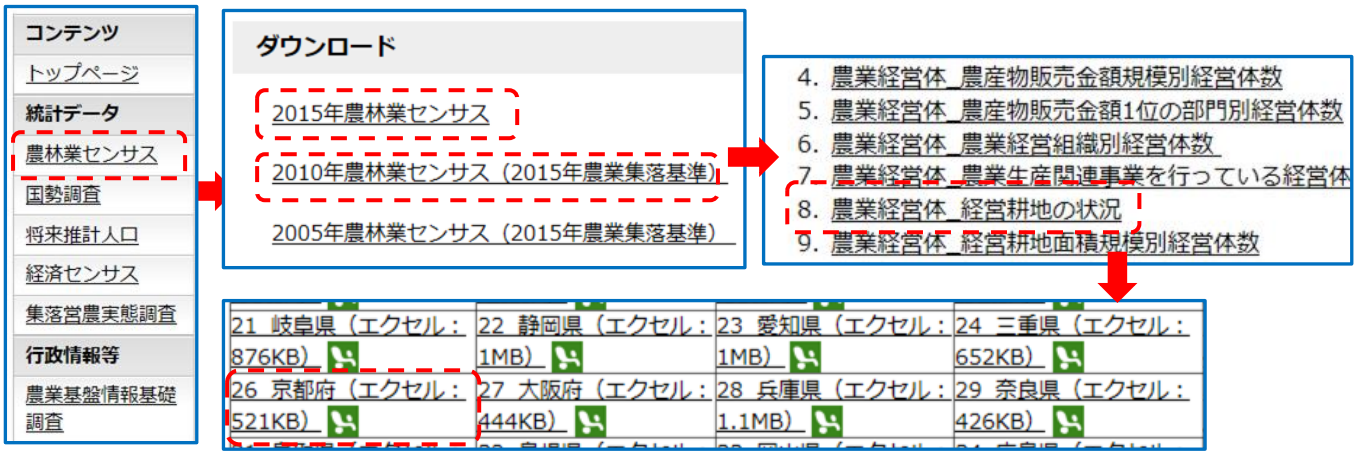


４．分析データ（地図情報の指標）の作成

（１）分析に必要なデータを活かすＤＢからダウンロードします。

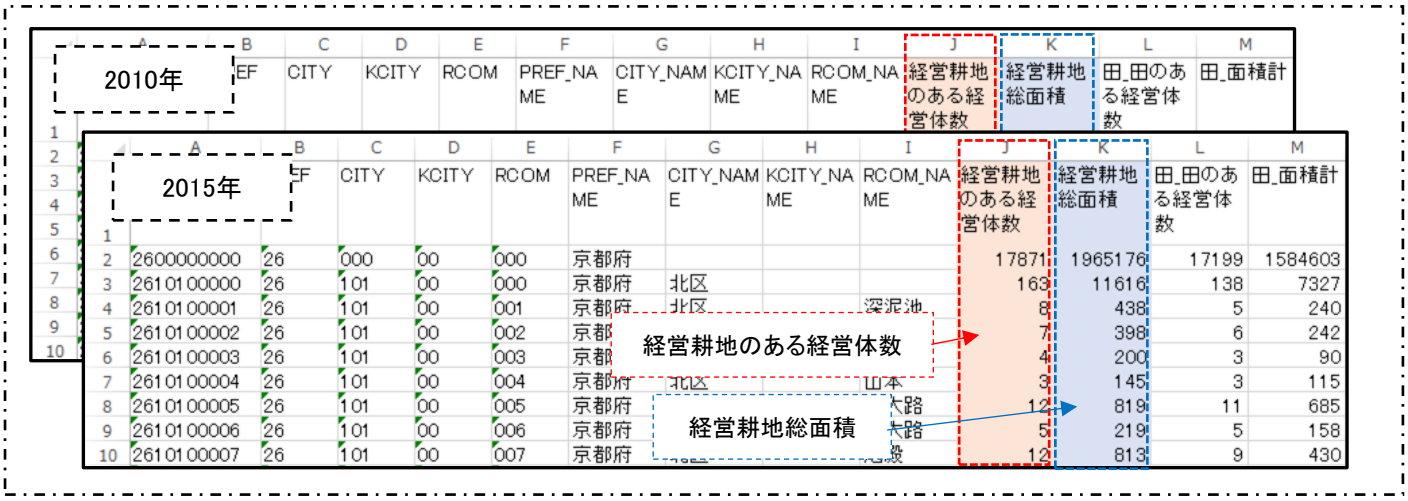
【農林水産省ホームページ】

統計情報＞地域の農業を見て・知って・活かすＤＢ＞農林業センサス

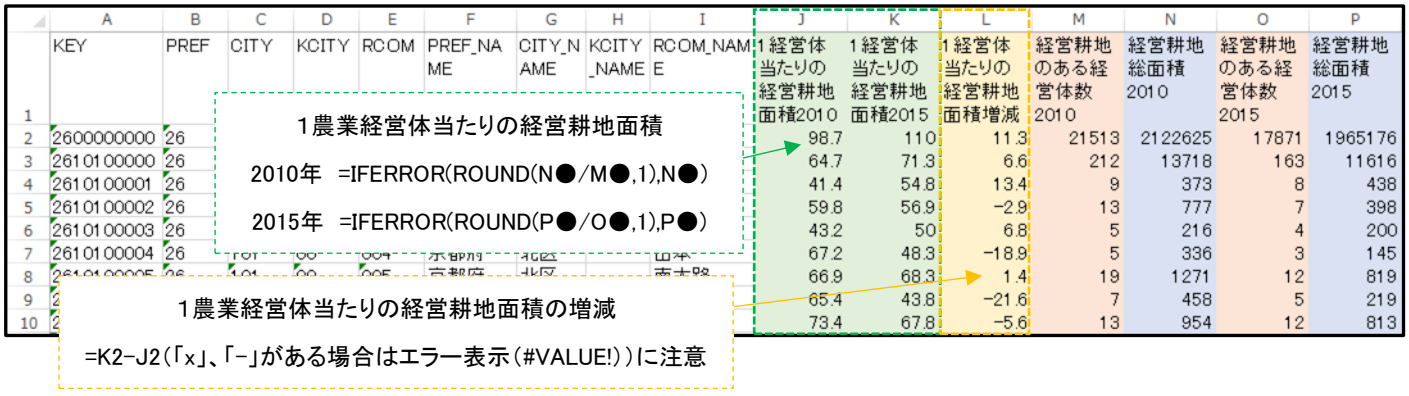


＜ダウンロードするファイル名＞　① SA1024_2015_2015_26.xlsx ② SA1024_2010_2015_26.xlsx

（２）ダウンロードファイルを展開、必要な項目を集約、分析データを追加します。



＜分析データの計算方法＞

１農業経営体当たりの経営耕地面積（a）＝　経営耕地総面積　÷　経営耕地のある農業経営体数　…（A）

１農業経営体当たりの経営耕地面積の増減（a）＝　2015（A）－ 2010（A）